

おばあちゃん、ありがとう。

福島県

相馬市立大野小学校 四年

武澤 里美

おばあちゃん、おばあちゃんには、伝えたいたくさん
のありがとうがあります。一番先に伝えたい「ありがとう」
と、それは、東日本大しんさいが起こった時、おばあ
ちゃんが、つなみから私を守ってくれたことです。自分
はなにも持たずに、私とまだ二才の弟、八十才のひいお
ばあちゃんを車に乗せて、つなみからにげてくれたこと
です。あのとき、いつもののんびり屋のおばあちゃんら
しく、「だいじょうぶ、だいじょうぶ、つなみなんて来な
いよ。」なんて言って、にげなかつたら、私たちは今、こ
にはいません。おばあちゃんは、今までに見たことがな
いくらいのきびしい顔で、私たちをだきかかえて車に乗
せ、必死でにげてくれました。ランドセルや毎日学校に
着て行っていたコート、小さい時に遊んでいたおもちゃ、
お父さんの思い出のアルバム、みんなつなみで流されてし
まったけれど、今、こうしておばあちゃんやみんなといっ
しょにいられるから、それだけでいいです。おばあちゃ
ん、本当にありがとう。

次に伝えたい「ありがとう」、それは、おばあちゃん
は今、かせつ住宅にくらしていて大変なのに、毎日、学
校までむかえに来てくれたり、おいしい夕食を作ってく
れたり、どこかに出かける時には、おこづかいをくれた

り、いつも私たちを想ってくれます。かせつ住宅
は、冬は寒くて夏は暑く、住むのは大変だけど、地しん
が起きる前の生活と同じように、私たちの世話をして
くれるおばあちゃん。仕事が終わってお父さんやお母さ
んがむかえに来てくれるまでの時間、おばあちゃんとす
ごす時間は、場所が変わったけれど、前と同じように、
安心してすごせます。おばあちゃんがよく作ってくれ
る手作りゼリーは最高においしくて、いくつでも食べら
れます。私が学校での出来事を話すと、いつもしんけん
に聞いてくれるおばあちゃん。本当にありがとう。

私はだんだん大きくなって、おばあちゃんの家に毎日
来ることはなくなってしまうかもしれません。でも、
今、おばあちゃんにしてみらっていること、わすれませ
ん。ときどき口ごたえをしてしまうこともあるけれど、
ありがとうの気持ちには、いつも心にあります。おば
あちゃんに助けられた命だから。これは私が生きてい
る間、ずっとずっと続くおばあちゃんへの「ありがとう」
です。